ビックアイデア

家庭用

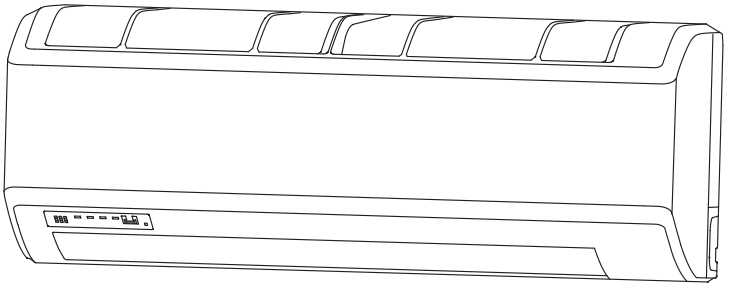
日本国内専用
Use only in Japan

ルームエアコン

室内ユニット	室外ユニット
BIM-SAS22A-W	BIM-SCS22A
BIM-SAS25A-W	BIM-SCS25A
BIM-SAS28A-W	BIM-SCS28A

取扱説明書

保証書付



この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を最後までよくお読みになり、内容に従って正しくお使いください。また、お読みになった後も本書を大切に保管してください。

●仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。

もくじ

製品の紹介 2

特長 2

安全上のご注意 3

表示の分類 3
図記号の意味 3

各部の名称 5

リモコンについて 6

電池の入れ方 6
操作のしかた 6

使いかた 7

運転モード 7
運転モードの選択 7
温度設定 7
自動運転 7
冷房運転（お部屋を涼しくする） 7
暖房運転（お部屋を暖かくする） 7
除湿運転 7
送風運転 7
停止 7
いろいろな設定 8
風量設定 8
上下風向調整 8
左右風向調整 8
便利な機能 9
内部クリーンモード（カビ防止）（お買い上げ時：入） 9
どっちも解凍洗浄 9
快適気流（天井気流 / 床暖房気流） 10
入・切タイマー 10
機能メニュー 11
体感モード（お買い上げ時：切） 11
パワーセーブ設定（お買い上げ時：切） 12
見守り（お買い上げ時：切） 12
ボタンロック（お買い上げ時：切） 12
おやすみモード 13
リモコンアドレス設定（お買い上げ時の設定：リモコン A） 13
スマートフォンでエアコンを操作する（Wi-Fi） 13

お手入れのしかた 14

前面パネル 14
エアーフィルター 14
空清フィルター（取り付け、取り外し） 14
本体・リモコン 14
長期間使用しないとき 15
使い始めるとき 15
点検整備 15

使用上の注意 15

応急運転方法 15
霜取運転 15
保護機能 15
運転条件 16
据付について 16
騒音にもご配慮を 16
運転ランプが点滅するとき 16

故障かな？！と思ったら 17

アフターサービスについて 19

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について 20

仕様 20

製品の紹介

特長

■どっちも解凍洗浄機能

室内と室外ユニットの熱交換器の洗浄・乾燥を行い、熱交換器のフィンに付着するホコリや油の汚れを取ります。(☞ 9 ページ)

■内部クリーン（カビ防止）機能

冷房・除湿運転停止後、室内ユニットの内部を乾燥させ、カビや雑菌を発生しにくくします。(☞ 9 ページ)

■見守り機能

室内温度が高すぎたり低すぎたりすると、自動で冷房運転または暖房運転をおこないます。(☞ 12 ページ)

■ Wi-Fi 機能

専用アプリをダウンロードしたスマートフォンから、エアコンの操作をすることができます。(☞ 13 ページ)

■パワフルモード機能

最大パワーで運転します。帰宅時などにすばやく冷やしたり、暖めたりしたいときにお使いください。(☞ 8 ページ)

■ニオイが付きにくい熱交換器

熱交換器に異臭成分を吸着しにくいプレコート剤を採用しています。



家庭用エアコンには GWP（地球温暖化係数）が 675 のフロン類 (R32) が封入されています。
地球温暖化を防止するため、移設・修理・廃棄にあたってはフロン類の回収が必要です。

冷媒の「見える化」表示について

この表示は、家庭用エアコンに温暖化ガス (フロン類) が封入されていることをご認識いただくための表示です。
エアコンの取りはずし時には、フロン類の回収が必要です。

廃棄時には家電リサイクル法の制度に基づき適正な引き渡しをしていただければ、確実にフロン類の適正処理がなされます。

	この機器は微燃性冷媒を使用しています。冷媒が漏えいした場合、周囲に着火源があると発火する可能性があります。		取扱説明書をよくお読みください。		必ず据付説明書を参照しながらサービスを行ってください。

安全上のご注意

お使いになるご本人や周囲の人々への危害・物的損害を未然に防止するため、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

表示の分類

本書では、必ずお守りいただく事項を以下のように分類しています。

⚠ **警告**	人が死亡又は、重大な損害を被る可能性がある内容を示します。	⚠ **注意**	人が負傷したり、物が破損したりする可能性がある内容を示します。

図記号の意味

⃠ してはいけない内容を示します。	❗ 必ず実行しなければならない内容を示します。

⚠ 警告

据付けや移設・修理時

必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。

⃠ **■指定冷媒（R32）以外は使用しない**
●故障や破裂、けがの原因になります。

■お客様自身でエアコンの据付けや移動、修理、再設置はしない
●感電や火災、けがなどの原因になります。

■お客様自身で室内外ユニット接続電線の交換はしない
●感電や火災、けがなどの原因になります。

■ふろ場など、水がかかる場所や、湿気の多い場所には設置しない

❗ **■必ずエアコン専用の電源コンセントを使用する**
●火災の原因になります。

■アースや漏電遮断機が設置されていることを確認する
●感電や火災などの原因になります。

■可燃性ガスの漏れるおそれのない場所に据付けされていることを確認する
●万一ガスが漏れてユニット周辺にたまると、発火の原因になります。

■エアコンが冷えない、暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられるので、お買い上げの販売店に相談する
●冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一室内に漏れ、ファンヒーターやストーブ、コンロなどの火気に触れると有害な生成物発生の原因になります。

■保管時は、着火源（例：裸火、動作しているガス機器や電気ヒータなど）がない部屋に保管する

■換気用開口部に障害物を置いてふさがない

電源プラグ・コード

⃠ **■電源コードを途中で接続したり、延長コードの使用、タコ足配線をしたりしない**

■運転中にプラグを抜かない

■ぬれた手でプラグの抜き差しをしない
●感電や火災の原因になります。

■コードを持って抜かない
●断線による発熱や発火の原因になります。

■束ねたり、引っ張ったり、重い物を載せたり、加熱したり、加工したりしない

❗ **■プラグは根元まで確実に差し込む**
●接触不良による感電や火災の原因になります。

■定期的にプラグのホコリを乾いた布でふき取る
●湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

異常時

❗ **■直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く**
●発煙・火災・感電の原因になります。

異常・故障例
・電源プラグ、電源コードが異常に熱いとき
・電源プラグが変色している
・焦げくさいにおいがする
・異常な音やガタガタと振動する
・ブレーカーが頻繁に落ちる
・室内ユニットから水が漏れる

お買い上げの販売店へ点検・修理を依頼してください。

運転時や取り扱い時は

⃠ **■室内・室外ユニットの吸込口や吹出口、すき間から指や棒などを入れない**
●ファンが高速で回転しているため、けがや故障の原因になります。

■リモコンを乳幼児の手の届く所に置かない
●誤操作による体調悪化や電池誤飲の原因になります。

■リモコンの乾電池は、＋、－を逆に入れない
●ショートによる発火や液漏れの原因になります。

■長時間、冷風（温風）を体に直接当てたり、体を冷やしすぎたりしない
●体調不良の原因になります。特に乳幼児や高齢者などにはご注意ください。

■ぬれた手で本体のボタンを操作したりしない
●感電の原因になります。

⚠ 警告

運転時や取り扱い時は（つづき）

■**調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属製のホコリのある場所では使用しない**
●火災や故障の原因になります。

■**機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない**
●ひび割れ・感電・引火の原因になります。

■**内部の洗浄は、お客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店または専門業者に相談する**
●部品の破損、水漏れなどの原因や、洗浄剤が電機部品やモーターにかかり、故障や感電、火災の原因になります。

■**乳幼児・お子様・お年寄り・病気の方・体の不自由な方など、ご自身でエアコンの操作ができない方が在室している場合は、管理できる人が近くにいるときに本操作をする**

■**お子様が本製品で遊ばないように注意してください**

お手入れ時

■**お客様自身で工具を使った分解・改造・内部洗浄をしない**
●故障や破裂、けがの原因になります。また市販の洗浄剤などを使用すると樹脂部品の割れや故障・水漏れ、感電・火災などの原因となります。

■**洗浄剤・消臭剤等を吹きかけない**
●部品の破損・故障・劣化、水漏れ、感電・火災などの原因となります。

⚠ 注意

運転時や取り扱い時は

■**室内・室外ユニットの下に他の電気機器や家財などを置かない**
●水滴が落ちる場合があり、汚損や故障のおそれがあります。

■**動植物に直接風をあてない**
●動植物に悪影響を及ぼすおそれがあります。

■**精密機器や食品、美術品の保存、動植物の飼育や栽培などに使用しない**
●品質低下などのおそれがあります。

■**熱交換器（アルミフィン）に触らない**
●手を切るおそれがあります。

■**水洗いをしない、花びんなど水の入った容器を載せない**
●漏電によって感電や発火のおそれがあります。

■**室内・室外ユニットの上に乗ったり、洗濯物をかけたり、物を載せたりしない**
●落下･転倒などによるけがのおそれがあります。

■**湿度が高いとき（80%以上）に、窓や戸を空けたままで、冷房・除湿を長時間運転しない**
●室内ユニットから水滴が落ち、家財などを汚損するおそれがあります。

■**床面などにワックスを塗布するときは、運転をしない**
●内部にワックス成分が付着し、水漏れのおそれがあります。

■**長期間の使用で、傷んだままの据付台などを使用しない**
●室外ユニットの落下、けがなどのおそれがあります。

■**エアコンの風が直接当たる場所に燃焼器具を置かない**
●不完全燃焼や火災のおそれがあります。

■**ドレンホースは排水を確実にし、先端をふさがない**
●室内ユニットから水漏れのおそれがあります。

■**室外ユニットの接続バルブは、暖房運転時に熱くなるので触れない**
●やけどのおそれがあります。

■**雷が鳴り落雷のおそれがあるときは、運転を停止し電源プラグを抜く**
●被雷による故障のおそれがあります。

■**長期間使用しない場合は、電源プラグを抜く**
●ほこりがたまって発熱・発火のおそれがあります。

■**燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに窓を開け、換気する**
●酸素不足のおそれがあります。

■**室外機周辺に物を置かない、落ち葉がたまらないようにする**
●虫などの侵入による故障・発火・発煙のおそれがあります。

お手入れ時

■**エアコンの操作やお手入れのときは不安定な台に乗らない**
●転倒など、けがのおそれがあります。

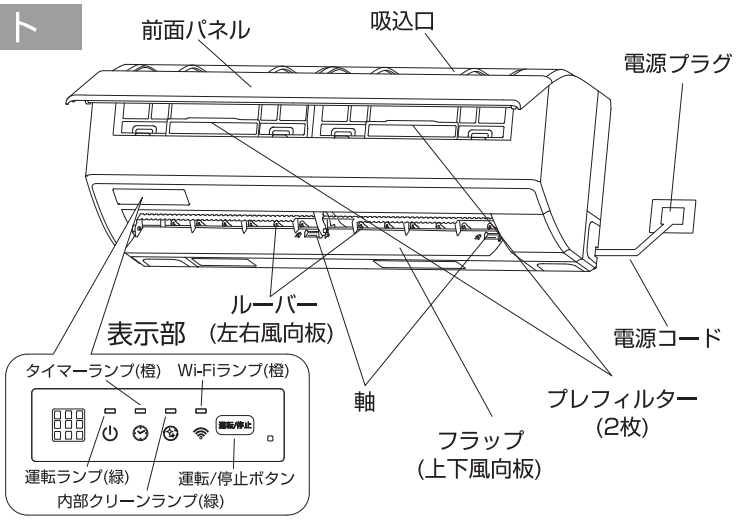
■**室内機内部の金属部に触れない**
●けがのおそれがあります。

■**お手入れをするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く**
●内部でファンが高速回転していますので、けがや故障のおそれがあります。

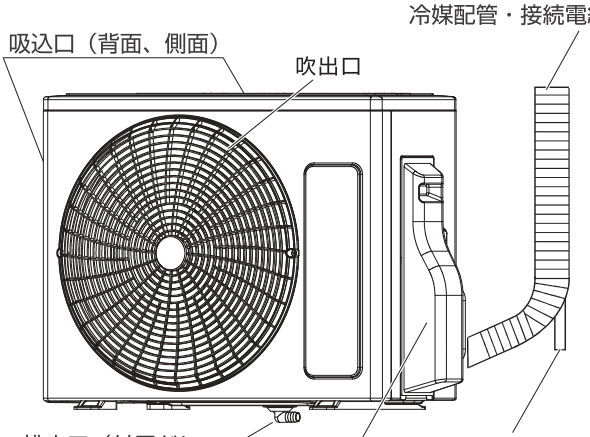
■**前面パネルやエアーフィルターを水洗いしたときは、水気を十分拭き取る**
●感電・漏電のおそれがあります。

各部の名称

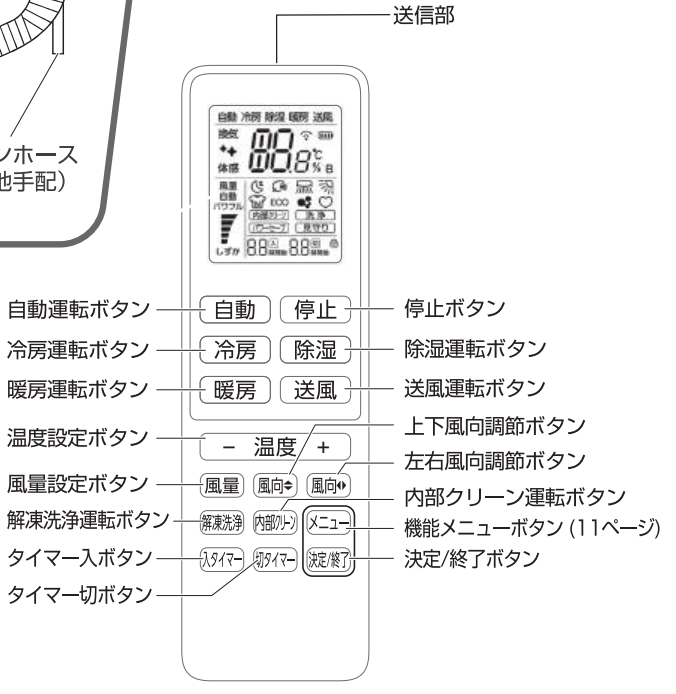
室内ユニット



室外ユニット



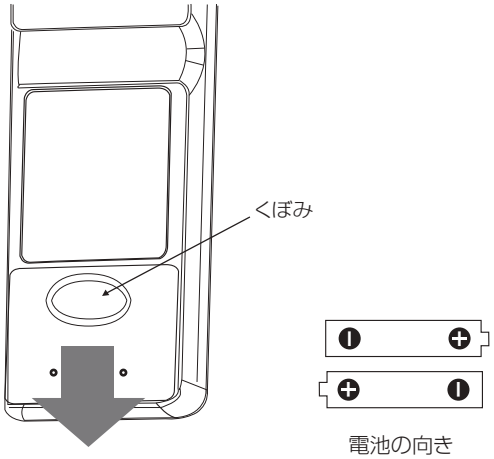
リモコン



リモコンについて

電池の入れ方

❶ 裏ぶたのくぼみを押しながらスライドして開ける
❷ +極、−極の向きを確認し、正しい方向で単4形乾電池を入れる
❸ 裏ぶたのくぼみを押しながらスライドして閉める



⚠ご注意

電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂することがあります。特に以下の点に注意してお使いください。

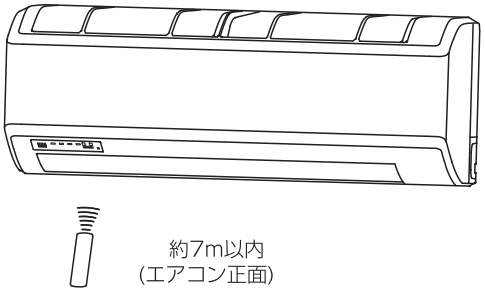
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 使えなくなった電池はすぐに取り出す。
- 液漏れした電池は使用しない。
  漏れた液に触れると肌が荒れることがあります。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 電池はお子様の手の届かないところに置いてください。誤って飲むおそれがあります。
- 充電式電池は使用しないでください。

お知らせ

- 付属の電池は動作確認用です。1 年未満で消耗することがあります。
- リモコンの信号が届きにくくなったり、液晶表示がうすくなったり、リモコンが正しく動作しないときなどは、新しい乾電池に 2 本共交換してください。
- リモコンを長く使わないときは電池を取り出しておいてください。
- 電池を廃棄するときはお住まいの自治体で定める廃棄方法に従ってください。

操作のしかた

リモコンを室内ユニット受信部に向けて操作してください。室内ユニットがリモコンから正しく信号を受けると、受信音が鳴ります。信号を受信できる距離は、正面で約 7m です。受信時に「ピ」と音が鳴ります。



⚠ご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高い所に置いたりしないでください。
- リモコンは直射日光の当たる場所に取り付けたり、放置したりしないでください。熱により変形することがあります
- 電子式瞬時点灯方式（インバーター方式など）の蛍光灯がある部屋では、信号を受け付けない場合があります。
- 当社エアコンを 2 台同じ部屋に据え付けたときなど、リモコンアドレス設定で混信を防ぐことができます。（☞ 13 ページ）

使いかた

運転モード

運転モードの選択

リモコンで次のいずれかのお好みの運転モードボタンを押す



- 室内ユニットの運転ランプ（緑）が点灯し、運転を開始します。
- リモコンにそれぞれの運転モードが表示されます。

温度設定

［ー　温度　＋］の「＋」、「ー」を押して温度を変更する

- 運転モードにより、押すごとに温度が 0.5℃ずつ、または 1℃ずつ変わります。

運転モード	「＋」または「ー」を押すごとに変わる温度	温度設定範囲
冷房運転	0.5℃	16 ～ 30℃
暖房運転	0.5℃	16 ～ 30℃
自動運転	1℃	“標準” ± 2℃
除湿運転	0.5℃	16 ～ 30℃
送風運転	温度調整不可	

自動運転

［自動］を押す

- お部屋の温度に合わせて、設定温度 (標準温度) と運転モードを自動で選び、運転します。

室内温度が26℃より高い	冷房運転 設定温度26℃
室内温度が23℃より高く26℃以下	除湿運転
室内温度が21℃より高く23℃以下	送風運転
室内温度が21℃以下	暖房運転 設定温度22℃

お知らせ

- 自動運転モード中、温度設定ボタンで、標準温度に対して± 2℃の範囲、1℃刻みで温度調整をすることができます。
- 自動運転の内容がお好みに合わないときは、手動運転（冷房・暖房・除湿・送風運転）でお使いください。

冷房運転（お部屋を涼しくする）

［冷房］を押す

- 設定温度をお部屋の温度より低くしないと、冷房運転にはなりません。

暖房運転（お部屋を暖かくする）

［暖房］を押す

- 設定温度をお部屋の温度より高く設定しないと、暖房運転になりません。

お知らせ

- 暖房運転を開始してから最初の約 3 ～ 5 分間は、ごく弱い風で運転し、その後設定風量になります。内部を暖めておいて室内ユニットから冷風を吹き出さないようにしているためです。
- 外気温が低い場合は、室外ユニットに霜が付いて暖房能力が低下するのを防ぐため、自動的に霜取り運転を行います。霜取り運転中は、運転ランプ（緑）が遅い点滅をし、暖房運転を一時的に停止します。（☞ 17 ページ）
- 風量が強い場合に、風が冷たく感じることや、運転音が気になるなど、お好みに合わない場合は、風量を調整してください。（☞ 8 ページ）

除湿運転

［除湿］を押す

- お部屋を除湿したいときにお使いください。
- 除湿運転のときは、風量しずか・風量I・風量自動を選択できます。（☞ 8 ページ）

お知らせ

- 除湿運転は除湿優先になりますので、お部屋の温度がお好みの温度にならないことがあります。また、除湿運転でお部屋を暖めることはできません。

※ お部屋の温度が室外の温度より低い場合、除湿効果が低くなります。

※ 除湿運転によって水分量が減った場合でも、お部屋の温度も下がった場合には、相対湿度が下がらないことがあります。

送風運転

［送風］を押す

- 送風運転では温度を調整することはできません。

停止

［停止］を押す

- 室内ユニットの運転ランプ（緑）が消灯し、運転を停止します。「ピー、ピ」となります。
- 内部クリーン運転モード設定時には、すぐに運転は停止せず、内部クリーン運転を行います。（☞ 9ページ）
- 暖房運転後の停止時に、室外機に霜の付着が検知された場合は、室外機の除霜運転を行い、除霜完了後に完全停止します。

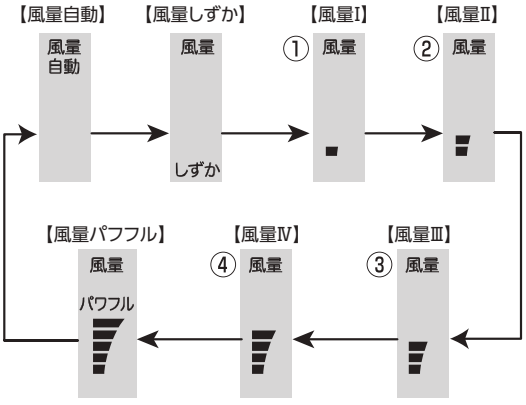
※ 霜取運転中は、運転ランプ（緑）が、遅い点滅をします。

いろいろな設定

風量設定

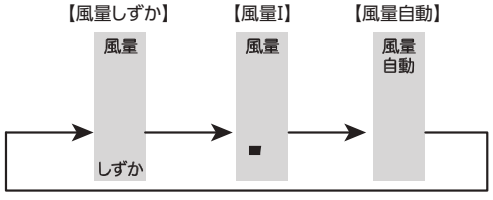
運転中に 風量 を押して風量を選択する

●押すごとに以下のように風量が切り替わります。



※自動風量の風量は①～④の範囲となります。

●除湿運転のときは、風量しずか・風量Ⅰ・風量自動を選択できます。



●送風運転のときは、自動風量は設定できません。

■自動風量について

●設定温度とお部屋の温度差に応じて、自動で設定された風量で運転します。

●冷房または除湿運転のとき、お部屋の温度が設定温度に到達すると、ムダな運転を抑制するため、室内ファンが止まることがあります。

■しずかモードについて

●最も弱めの風で運転します。

■パワフルモードについて

●最も強めの風で運転します。帰宅時などにすばやく冷やしたり、暖めたりしたいときにお使いください。パワフル運転をやめるときは、「風量」ボタンを押してください。

●パワフル運転に設定すると、最初の 15 分間は室内外ユニットともパワフルで運転を行います。
15 分経過後、室外ユニットは運転周波数が降下し、パワフル運転が解除されます。

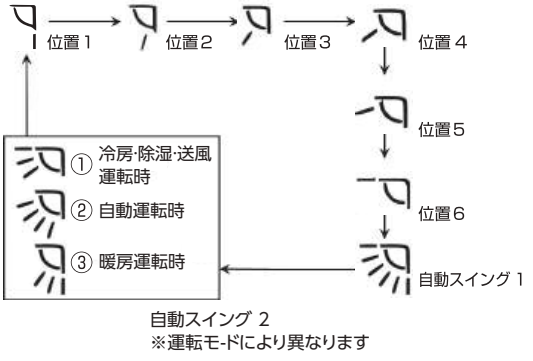
●パワフル運転中の風量は最大風量となります。

●パワーセーブを設定している場合は、その機能の運転内容の範囲内での最大パワーで運転します。

上下風向調整

風向 を押してフラップ（上下風向板）角度を調節する

●押すごとに以下のように角度が切り替わります。

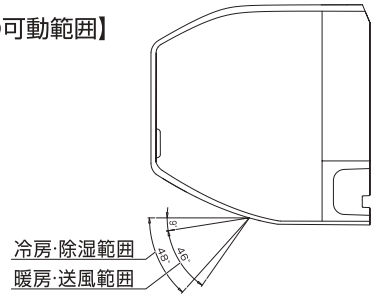


●暖房運転開始などで吹出温度が低いときや、自動除霜運転時など、冷たい風がお体に当たらないように、フラップが一時的に開度の小さい冷風防止の位置になります。

●上下の風向調節は、フラップを直接動かさず、必ずリモコンで行ってください。

●フラップの可動範囲は運転モードに応じて異なります。

【上下風向の可動範囲】



左右風向調整

風向 を押して、ルーバー（左右風向板）

●一度押すと、左右に自動スイングします。

●再度ボタンを押すと、スイングが止まります。
お好みの角度に調整することができます。

●左右の風向調節は、ルーバーを直接動かさず、必ずリモコンで行ってください。

表示部ランプの ON/OFF

■本体表示部のランプの ON/OFF を切り替えます

●運転中に 風向 を 3 秒間長押しすると、本体表示部のランプを ON/OFF 切り替えることができます。

便利な機能

内部クリーンモード（カビ防止）（お買い上げ時：入）

■冷房や除湿運転を行うと、エアコンの内部が湿り、カビやニオイの発生の原因になります。「内部クリーン」運転により、エアコン内部を乾燥させ、カビやニオイの発生を抑制します。

冷房・除湿運転中に 内部クリーン を押すと、「内部クリーンモード」が設定される

●リモコン表示画面に「 内部クリーン 」が表示されます。

●内部クリーンモードの設定を解除したい場合は、 内部クリーン を押してください。リモコン表示部の「**内部クリーン**」が消え、解除されます。

お知らせ

●「内部クリーン」モードが設定されると、冷房・除湿ボタンを押して 20 分間以上の連続運転を停止する度に、「内部クリーン（カビ防止 ）」運転を自動的に開始します。内部クリーン運転中は内部クリーンランプ（緑）が点灯します。約 70 分間運転すると「内部クリーン」運転は停止します。

●「内部クリーン（カビ防止 ）」の運転中、 停 止 を押すと、「内部クリーン」運転を中止することができます。

●「内部クリーン」運転中、「タイマー入・切」の設定時間が来ると、タイマーを優先して室内ユニットの起動・停止を行います。

●**自動運転や暖房、送風運転停止後には、内部クリーンは作動しません。**

●冷房または除湿運転でおやすみモードが終了した後にも内部クリーン運転を行いますが、切タイマー設定で運転終了した際は、内部クリーンは作動しません。

⚠ご注意

●「内部クリーン（カビ防止）」を解除すると、冷房や除湿運転後、室内ユニット内部を乾燥することができなくなり、カビが発生するおそれがあります。

●「内部クリーン（カビ防止）」運転中、「パチッ」、「カチッ」の樹脂部品の伸縮音がすることがあります。また、圧縮機の回転数が上がることがあり、一時的に室外機の音が大きくなる場合もあります。それは異常ではありません。

※内部クリーンや解凍洗浄運転時は、周囲の温度が変化したり、湿度が一時的に上がったりすることがあります。

どっちも解凍洗浄

■室内・室外熱交換器を洗浄します。熱交換器に霜をつけ、溶かした水分で洗い流します。

運転中に 解凍洗浄 を押すと「解凍洗浄」が予約設定されます。

●リモコン表示画面に 洗 浄 が表示されます。

※解凍洗浄予約中に 解凍洗浄 を押すと予約はキャンセルされます。

※運転を停止すると、「解凍洗浄」運転をおこないます。

停止中に 解凍洗浄 を押すと、すぐに「解凍洗浄」運転をおこないます。

お知らせ

●「解凍洗浄」運転は、熱交換器のフィンに付着されたホコリや汚れを洗浄することが目的です。起動から運転完了までは約 90 分間かかります。

●「解凍洗浄」運転中、 停 止 を押すと「解凍洗浄」を中止することができます。リモコンに表示された **洗 浄 の表示が消え、内部クリーンランプ（緑）が消灯します。**

※リモコンの自動・暖房・除湿・送風・解凍洗浄ボタンのいずれかを押すと、解凍洗浄は停止します。

●外気温が 2℃以下の場合は、ドレン水が凍ることがあるため、解凍洗浄の機能を使わないでください。

●室内機、室外機の順で洗浄します。

便利な機能（つづき）

⚠ご注意
- 「解凍洗浄」運転中、「パチッ」、「カチッ」など、大きな音がすることがあります。これは樹脂部品の伸縮音で、異常ではありません。
- 冬期などの湿度の低い条件では効果が発揮できない場合があります。
- すべての汚れを洗い流せるものではありません。
- ご使用状況に合わせて、定期的な「解凍洗浄」運転をお勧めいたします。

※内部クリーンや解凍洗浄運転時は、周囲の温度・湿度が変化する場合があります。
※夏季など外気温が高い条件では、熱交換器に着霜しない場合があります。

快適気流（天井気流 / 床暖房気流）

■冷房・除湿は上向きに、暖房は下向きに快適な気流を調整します。

天井気流

■冷房運転中に、〔冷房〕を３秒以上長押しすると、フラップ（上下風向板）角度を位置６に切り替えます。
表示画面に ⁻ㄱ が表示されます。

⚠ご注意
- 運転モードの切り替えや上下風向調整をおこなうと、設定が解除されます。

床暖房気流

■暖房運転中に〔暖房〕を３秒以上長押しすると、フラップ（上下風向板）角度を位置１に切り替えます。
表示画面に ㄱ が表示されます。

⚠ご注意
- 運転モードの切り替えや上下風向調整をおこなうと、設定が解除されます。

入・切タイマー

■設定した時間でエアコンを運転 / 停止する

〔入タイマー〕または〔切タイマー〕を押す

〔－　温度　＋〕の「＋」、「－」を押して時間「0.5,1.0,1.5...10,11...24」を選択する
（0 ～ 10 時間は 0.5 時間、10 ～ 24 時間は 1 時間刻み）

時間表示が点滅中にもう一度、〔入タイマー〕または〔切タイマー〕を押すと設定が完了し、本体タイマーランプ（橙）が点灯します

■設定したタイマー設定を取り消す

取り消したい〔入タイマー〕または〔切タイマー〕を押すと、タイマー設定が解除され、本体タイマーランプが消灯（橙）します

便利な機能（つづき）

お知らせ

- 入タイマーと切タイマーを組み合わせて予約設定することもできます。
- 入タイマーと切タイマーを同じ時間に予約設定したときは、切タイマーが優先になります。
- 運転中に入タイマーを予約設定したときは、そのまま運転を続けます。

機能メニュー

■下記の機能メニューの中から、対応する機能を選択して機能を動作 / 停止することができます

・体感モード
・パワーセーブ
・見守り
・ボタンロック
・おやすみモード

メニュー を押すと、機能メニューが選択できます

ー 温度 ＋ の「+」、「−」を押して設定したい機能を選択して点滅させる

決定/終了 を押して選択した機能を動作 / 停止させる

⚠ご注意

- 機能メニュー操作中に他の操作をしたり、30 秒間ボタン操作がおこなわれなかった時は、機能メニュー操作が終了します。

体感モード（お買い上げ時 : 切）

■リモコンの温度センサーで室温を検知します。身近にリモコンを置くことで、より体感温度に近い温度設定を行うことができます。

メニュー を押し、機能メニューから【体感】を選択し、動作させる

※体感モード設定中は、リモコンに 体感 が表示されます。

※解除したい時は、メニュー を押し、機能メニューから【体感】を選択して、解除してください。

⚠ご注意

- 「体感」モードをご使用の際は、リモコンの電波が届く範囲内で、リモコンの送信部を本体受信部に向けた状態でご使用ください。
- 「体感」モードをご使用中に、直射日光の当たる場所や著しく部屋の温度と異なる場所などへリモコンを置いた場合、快適な温度調整ができません。
- 温度調整がお好みに合わない場合は、「体感」モード設定を解除してご使用ください。
- 体感モードを設定中に、設定温度を変更すると、5秒間設定温度が表示され、その後周囲の温度が表示されます。
- 環境温度が 0℃以下の場合は、0℃と表示されます。

便利な機能（つづき）

パワーセーブ設定（お買い上げ時：切）

■電力を低くおさえた運転（最大電流上限約 50%）を行います。春先や秋口など大きなパワーを必要としないときや、複数のお部屋で同時にエアコンを運転させたり、他の電気製品と同時に使用するときなど、ブレーカー落ちが心配なときに設定してください。

メニュー を押し、機能メニューから【パワーセーブ】を選択し、動作させる

※パワーセーブ設定中は、リモコンに パワーセーブ が表示されます。

解除したい時は、メニュー を押し、機能メニューから【パワーセーブ】を選択して、解除してください。

お知らせ

●設定すると解除するまで、次回以降もパワーセーブで運転を開始します。

⚠ご注意

●パワーセーブ設定中は、電流値をおさえた運転を行うため、よく冷えない（暖まらない）場合があります。

見守り（お買い上げ時：切）

■運転停止時に、室温が30℃以上または14℃以下の状態を10 分間検知すると、自動的にエアコンを運転させて室温を調整します。16℃から 28℃の温度範囲に達してから10 分間維持された後、エアコンは待機状態になります。

メニュー を押し、機能メニューから【見守り】を選択し、動作させる

※見守り設定中は、リモコンに 見守り が表示されます。
※解除したい時は、メニュー を押し、機能メニューから【見守り】を選択して、解除してください。

⚠ご注意

●見守り設定中にタイマー設定をおこなった場合には、タイマー設定が優先されます。
●見守りの設定状態は、リモコン表示でのみ確認できます。
●室内機の設置場所や使用環境などの影響で、正確に温度を検知できず、見守り機能が作動しない場合があります。本機能は補助機能としてご利用ください。

ボタンロック（お買い上げ時：切）

■リモコンのボタン操作を無効にします。

メニュー を押し、機能メニューから【ロック】を選択し、動作させる

※ボタンロック設定中は、リモコンに が表示されます。
※解除したい時は、メニュー を押し、機能メニューから【ロック】を選択して、解除してください。

⚠ご注意

ボタンロックを設定するとリモコン操作が無効になります。エアコンの操作をする際は、ロックを解除してください。

使いかた（つづき）

便利な機能（つづき）

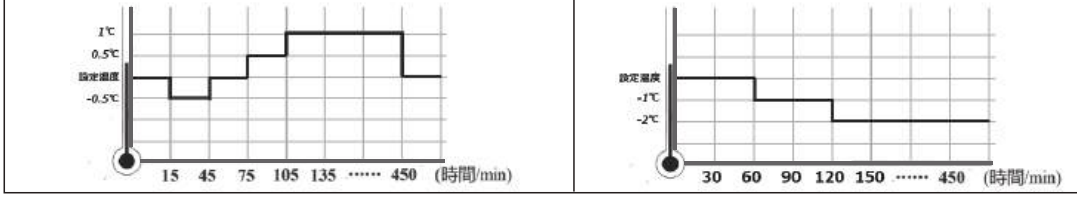
おやすみモード

■冷やしすぎ、暖めすぎを抑え、快適な睡眠をサポートします。

メニュー を押し、機能メニューから　おやすみ　を選択し、動作させる

※おやすみ設定中は、リモコンに が表示されます。

冷房･除湿運転の場合（設定温度25.5～26.5℃の場合）	**暖房運転の場合**
設定後15分経つと設定温度から0.5℃下がります。 45分、75分、105分経つごとに0.5℃ずつ温度が上がり、設定温度から1℃上がった温度で運転します。 450分経過すると1℃下がり設定温度で運転します。	設定後60分経つと設定温度から1℃下がります。 120分経つとさらに1℃下がり、設定温度から2℃下がった温度で 運転します。（16℃より低くなることはありません）



除湿・冷房運転時は、過度な冷えすぎや暖まりすぎを防ぐため、温度帯ごとに制御します。
設定温度が25.5～26.5℃の場合は上記カーブで運転し、25℃以下の場合は設定温度に従って運転します。
また、27.5℃以上に設定した場合でも、運転中の最高目標温度は27.5℃を上限とします。

お知らせ

- おやすみモードは冷房・暖房・除湿運転のときに使用できます。
- おやすみモードに設定すると、運転ランプ（緑）が約 10 秒間点滅したあと、ランプが消灯します。室内ファンは風量Iで運転します。温度･風向の設定や調整を行うと、運転ランプが一時的に点灯しますが、10秒経過後、ランプは消灯します。

※おやすみモードの温度は、16 ～ 30℃の範囲内で設定されます。

リモコンアドレス設定（お買い上げ時の設定：リモコン A）

■弊社エアコンを 2 台同じ部屋に据え付けたときなど、信号設定 A / B を切り換えて、混信を防ぐことができます。

※アドレス設定で変更しないもう 1 台のエアコンのコンセントを抜いてから下記の手順で設定を行ってください。

設定方法

❶ リモコンをエアコン本体に向けて 入タイマー ＋ 切タイマー ＋ 停 止 を同時に 5 秒間押し続けると、リモコンの液晶画面に「B」が表示され、本体から「ピッピッ」と音が鳴りペアリング設定が完了します。

❷ 設定完了後は、リモコンの信号設定は「B」に切り替わり、本体も「B」設定のリモコンで操作できます。

お知らせ

- リモコンが本体を操作できない場合、上記の手順に従い、リモコンを本体に向けて、入タイマー ＋ 切タイマー ＋ 停 止 を同時に 5 秒間押し続け、リモコンと本体のペアリングを再実行してください。

※リモコンアドレス設定は、電池残量が十分な状態で行ってください。

スマートフォンでエアコンを操作する（Wi-Fi）

専用のアプリをインストールしたスマートフォンを使って、エアコンを操作することができます。

詳細につきましては、別紙「ConnectLife 取扱説明書」をご参照ください。

- スマートフォンでエアコンを操作するためには、無線 LAN 環境（3G/4G）および専用アプリをインストールしたスマートフォンが必要です。

お手入れのしかた

⚠警告

●ユニット内部の洗浄は自分では行わない

誤った方法で内部の洗浄を行うと、破損・火災・感電の原因となります。必ず専門の業者に依頼してください。

⚠注意

●お手入れの前には、必ず運転を止め、電源プラグを抜く

ファンが高速で回転しているため、けがのおそれがあります。

●お手入れをするときは、不安定な台に乗らない

転倒など、けがのおそれがあります。

●エアコンを水洗いしたり、水の入った容器を乗せたりしない

感電や発火のおそれがあります。

●室内ユニットの熱交換器（アルミフィン）に触らない

手を切るおそれがあります。

お願い

●40℃以上の温水を使用したり、ベンジンやガソリン、シンナー やアルコール、みがき粉などでふかない

変形や変色、傷が付くおそれがあります。

前面パネル

■取り外し方

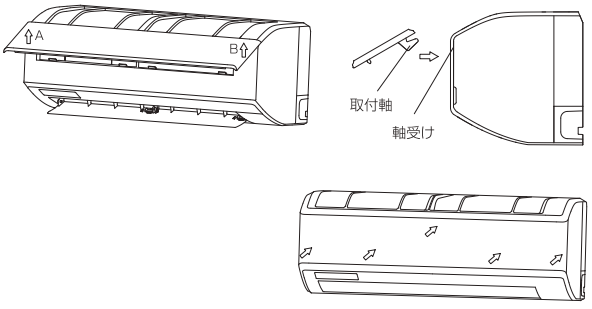
前面パネルの下部両端を手前に引いて開きます。前面パネル取付軸 A を左方向にスライドさせた後、上に持ち上げて外し、取付軸 B を右にスライドさせた後、上に持ち上げて取り外します。

■取り付け方

前面パネルを水平に持ち、取付軸を本体左右の軸受けにカチッと音がする位置まで取り付け、前面パネルの下部の矢印部（5 カ所）を押して確実に閉じます。

■汚れが気になるとき

本体から前面パネルを取り外し、水洗いします。やわらかい布で拭き十分に乾かしたあと、本体に確実に前面パネルを取り付けてください。



矢印部（5 カ所）を押し、確実に取り付けてください。

エアーフィルター

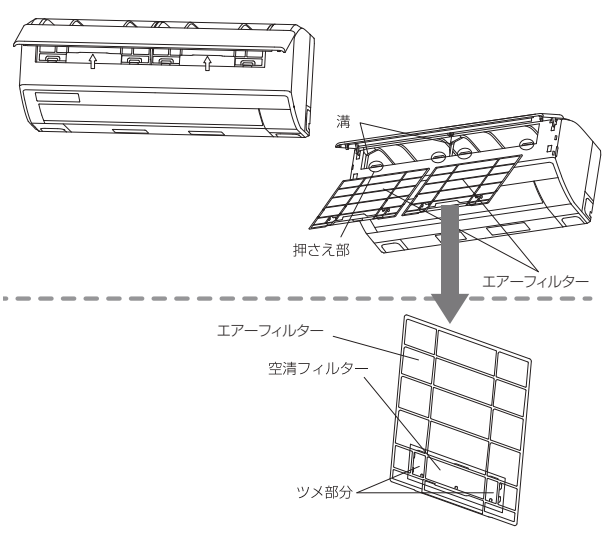
※エアーフィルターに小型の空清フィルターが装着されています。空清フィルターは水洗いできません。必ず取り外してからエアーフィルターのお手入れをしてください。また、エアーフィルターを水洗いする際に洗剤は使用しないでください。撥水効果が弱まります。

①前面パネル下部両端を手前に開き、上方に持上げ「カチッ」と音がする位置で固定します。エアーフィルター下部のつまみを持ち上げてから、本体より引き出して取り外します。

②掃除機でホコリを吸い取るか、流水で洗い流し、十分に乾かしたあと、本体に確実に取り付けてください。

※撥水効果が弱まるため、洗剤を使用しないでください。

③エアーフィルターを本体溝部分に沿わせて元の通りに取り付け、フィルター押さえ部にはめ込み、前面パネルを閉じます。



空清フィルター（取り付け、取り外し）

①「お手入れのしかた」に従い、エアーフィルターを取外す。

②エアーフィルターのツメ部分に空清フィルターをひっかけて装着する。

③エアーフィルターを元の通りに取り付け、前面パネルを閉じる。

※空清フィルターは水洗いできません。

本体・リモコン

■汚れが気になるとき

柔らかい布でからぶきしてください。

⚠警告

●運転中は吹出口に指や棒を入れない。

内部でファンが高速回転しているので、ケガや故障の原因となります。

お手入れのしかた（つづき）

長期間使用しないとき

- 内部クリーン運転をして室内ユニット内部をよく乾燥させます。
- 運転停止後、電源プラグを抜く。
- エアーフィルターのお手入れをする。（☞14 ページ）
- リモコンの乾電池を抜く。

使い始めるとき

- リモコンに乾電池を正しく入れる。
- エアーフィルターが取り付けられていることを確認する。（☞14 ページ）
- 電源プラグをコンセントに差し込む。
- ドレンホースの排水口がふさがれていないか確認する。

ヒント

- エアコンを長時間使用しないで、再び運転するときには「解凍洗浄」機能を活用してください。（☞ 9 ページ）
- シーズン前に試運転を行い、不具合がないか確認してください。

（☞ 据付説明書 裏表紙）

点検整備

- エアコンを数シーズン使用すると、内部が汚れにおいが発生したり、性能が低下することがあります。通常のお手入れとは別に、点検整備やクリーニング（有料）をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。

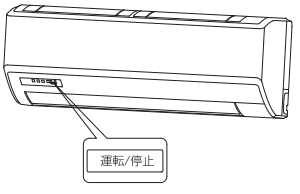
⚠注意

- **通常のお手入れとは別に点検整備をする。**
  室内ユニット内部のゴミやホコリがたまって、ドレン水の排水経路を詰まらせ、室内ユニットからの水漏れの原因になることがあります。
- **点検整備は、お客様自身で行わずお買い上げの販売店に依頼する。**
  点検整備には、専門技術が必要です。市販の洗浄剤などを使用すると、樹脂部分の破損や排水経路の詰まりに至ることがあり、水漏れや感電、火災の原因になります。
- **電源コードや室内外接続配線などの交換は、お客様自身で行わないでください。**
  感電や設備故障を起こす原因になります。

使用上の注意

応急運転方法

- リモコンが使えないときは、本体のボタンを使って応急運転ができます。



・運転 / 停止ボタンを押すと緑の運転ランプが点灯し、運転モード、風量を「自動」で運転します。
もう一度、「運転 / 停止」ボタンを押すと停止します。

お願い

- 本体のボタンは長押ししないでください。

霜取運転

故障ではありません

- 運転ランプ（緑）のみが、遅い点滅をしているときは、自動霜取り運転をしています。

- 暖房運転中、室外熱交換器に霜が付いた場合、暖房能力の低下を防ぐため、自動で除霜運転を行います。除霜運転は、2 ～ 10 分間かかり、その間の送風（温風）は停止します。また、除霜により室外ユニットの底面から排水が流れ出ます。

保護機能

- 電源プラグを差し込んだ直後や、運転停止後すぐに再運転をしたときには、エアコンを保護するため、室外ユニットは約 3 分間経過してから運転を開始します。

使用上の注意（つづき）

運転条件

●次の運転範囲でご使用ください。この範囲外で運転しますと、保護装置が働き運転を停止することがあります。また、冷房・除湿運転の場合、霜が付き、水滴が落ちる場合があります。
エアコンは、お部屋の冷房・暖房・除湿又は送風以外の目的にご使用にならないでください。

運転モード	外気温	室内温度	室内湿度
冷房運転	21℃～55℃	21℃～32℃	80% 以下
除湿運転	18℃～55℃	18℃～32℃	80% 以下
暖房運転	−15℃～24℃	27℃以下	

据付について

⚠警告

●**据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。据付には専門の知識と技術が必要です。お客様ご自身で行うと、火災・破裂・水漏れ、感電やけがの原因になります。**

感電や設備故障を起こす原因になります。

■据付場所について

次のような場所には設置しないでください

・海岸地区などの塩分の多い場所
・温泉地などの硫化ガスの発生する場所
・動植物に直接風があたる場所
・油煙、蒸気、チリ、ホコリ、腐食性ガスの排出される場所
・機械油が多い場所
・可燃性のガスが漏れる恐れのある場所
・ドレン排水が困難な場所
・テレビやラジオからの距離が 1m 以内の場所
・火災報知器からの距離が 1.5m 以内の場所
・積雪で室外ユニットがふさがれてしまう場所
・車両や船舶など移動するもの

騒音にもご配慮を

●据付にあたっては、エアコンの重量に十分耐えられる場所で、騒音が増大しないような場所をお選びください。

●室外ユニットの吹出口からの冷・温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。

●室外ユニットの吹出口や吸込口付近に物を置くと、機能低下や騒音増大の原因になります。

●エアコンご使用中に異常音にお気づきのときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

運転ランプが点滅するとき

お願い

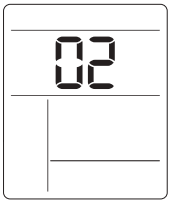
●本体の運転ランプ（緑）とタイマーランプ（橙）が同時に、またはタイマーランプだけが点滅するときは、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってから、10 分後にもう一度電源を入れて運転してください。その後もランプが点滅する場合は、正常でない可能性があります。

●運転ランプ（緑）のみがおそい点滅をしているときは、自動霜取り運転をしています。故障ではありません。

■サービスコードのご確認（点検モード）

①「解凍洗浄」ボタンを５秒以上長押しします。

②「解凍洗浄」ボタンを押すごとに、室内ユニットから「ピッ」と音が鳴り、リモコンのサービスコードの数字が変わります。１回押して１つのサービスコードを本体の制御基板に送信しますので、押し続けてもサービスコードが変わりません。必ず１回ずつ押してください。



③該当するサービスコードになると「ピピピピッ」と鳴り、また本体表示部のすべてのランプが点灯します。

サービスコード確認表

サービスコード	故障内容
01	いずれかの番号が該当した場合は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターへご連絡ください。
02	
03	
06	
11	
14	
19	
20	
30	
33	
34	
36	
38	
39	

故障かな？！と思ったら

ご使用中に異常が生じたときは、つぎの点をお調べください。それでも正常に戻らないときは、ただちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにご連絡ください。

こんなとき	お調べいただくこと／なおしかた
すぐ運転しない	●運転停止後にすぐに再運転した場合や、電源プラグをコンセントに差し込んだ場合、故障を防ぐため室外機ユニットは約３分間は運転しません。
運転しない	● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？ ● ブレーカーが落ちていませんか？ ● 停電ではありませんか？ ● 漏電遮断器が働いていませんか？
運転ランプが点滅する	● 取扱説明書 16ページ「運転ランプが点滅するとき」をご参照ください。 ● 据付説明書 裏表紙の「９. 試運転の確認」の「※異電圧を印加した場合」をご参照ください。
運転を停止しても止まらない	●内部クリーン運転が設定されています。内部クリーン運転後に自動停止します。
運転を停止しても室外ユニットが停止しない	●暖房運転を止めたときに、室外ユニットに霜が付いていると、自動的に霜取り運転を４～５分間行ってから停止します。このとき、運転ランプ（緑）が遅い点滅をします。
途中で止まる	●「切」タイマーが働いていませんか？ ● 他の人がスマートフォンで操作していませんか？
勝手に運転を開始する	●「入」タイマーが働いていませんか？ ●自動復帰機能(オートリスタート)が搭載されています。エアコン運転中に停電しても、復帰後に自動で運転を再開します。 ● 他の人がスマートフォンで操作していませんか？
冷えない / 暖まらない	● 風量しずか･風量Ⅰ･風量Ⅱの場合は設定温度に到達するまで時間がかかったり、設定温度にならなかったりすることがあります。 ●エアーフィルターが汚れていませんか？ ●除湿運転や送風運転になっていませんか？ ●室内ユニット、室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがっていませんか？ ●お部屋の窓や戸が開いていたり、換気扇やガスコンロを使用していませんか？ ●お部屋や屋外の温度・湿度が使用範囲外ではありませんか？ ●パワーセーブの設定になっていませんか？
湿度が下がらない	●冷房運転時に設定温度に達すると、弱い運転に切り替わるため湿度が下がりにくくなります。除湿運転に切り替えることをおすすめします。
風が弱い・止まる	●暖房運転開始時、エアコン内部が温まるまでごく弱い風で運転します。 ●暖房運転時、お部屋の温度が設定温度より高くなると、室外ユニットが停止するとともに、室内ユニットはごく弱い風で運転します。 ●除湿･自動運転のときは､風量しずかより弱い風で運転することがあります。 ●暖房運転中、室外熱交換器に霜が付いた場合、暖房能力の低下を防ぐため自動で除霜運転を行います。その間送風は停止します。

こんなとき	お調べいただくこと／なおしかた
風がにおう	●エアコンが壁やじゅうたんや衣類などにしみこんでいる生活臭を吸い込んで、吹き出すためです。異常ではありませんが、気になる場合は専門業者による「エアコン内部洗浄」をおすすめします。
解凍洗浄や内部クリーンをしてもにおいがとれない	●すでに付着した汚れやカビを完全に取り除くことはできません。気になる場合は専門業者による「エアコン内部洗浄」をおすすめします。
室内機の吹出し口が結露する	●冷房時に吹出し口まわりが結露する場合は、左右ルーバーを風がまっすぐ出るように、上下フラップを下に下げすぎないよう角度を調整してください。
吹出し口まわりが赤くなる	●結露などで濡れた部分に一般的な雑菌や赤カビが繁殖し、赤く見えることがあります。薄めた中性洗剤などで拭いてください。
赤い水やぬるぬるした水が出る	●一般的な雑菌や赤カビが繁殖し、赤く見えることがあります。薄めた中性洗剤などで拭いてください。
リモコンで操作できない	● リモコンの電池が消耗していませんか。 ● リモコンを室内ユニット受光部に向けていますか？ ● 電池の向きは合っていますか？
音がする	●**「ポコポコ」音** ドレンホース内の水が逆流する音で、高層住宅や気密性の高い部屋で換気扇を回しているときや、室外に強風が吹いているときに発生します。 お部屋の吸気口を開けると解消される場合があります。逆流防止部材（市販品）の取り付けをお買い上げ販売店にご相談ください。 ●**「ピシッ」、「パキッ」音** 温度変化でエアコンの樹脂部分が伸縮する音です。起動や停止時、解凍洗浄時に特に大きな音がすることがあります。異常ではありません。 ●**「水の流れるような音」、「 シャー」、「プシュー」音** エアコン内部に冷媒が流れているときや、冷媒の流れが切り換わるときに出る音です。異常ではありません。 ●暖房運転時は冷房運転時に比べ、最大能力値が高いため運転音が大きく感じることがあります。
室外ユニットから水や湯気が出る	●暖房運転時に、室外ユニットに付着した霜を取除く運転を行うことがあり、溶け出した霜が水や湯気となって出ることがあります。 ●冷えた接続配管に水が付き、流れ出ます。
室内ユニットから霧がでる	●解凍洗浄や内部クリーン、冷房運転などのとき、お部屋の空気が急速に冷やされ、霧状になることがあります。
室内ユニットから水が漏れる	● ドレンホースにつぶれや詰まりがあると排水ができず水が漏れることがあります。すぐに運転を停止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

アフターサービスについて

● **保証書 (添付)**

「お買い上げ年月日」と「販売店名」等所定事項の記入及び記載内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。記載内容をよくお読みになり大切に保管してください。

● **保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間**
（ただし冷媒系統は　5 年）

● **補修用性能部品の保有期間　10 年**

この商品の補修用性能部品は、製造元が製造打ち切り後 10 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

● **修理を依頼されるとき**

「故障かな？！と思ったら」（☞ 17 ページ）にしたがってご確認ののち、直らないときは、まず安全のため電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターへご連絡ください。その際に以下の内容をお知らせください。

1. 型式：ユニット本体の下部の銘版に記入されています。
2. 故障の状態：できるだけ詳しくご説明お願いいたします。
3. 製品購入の年月日：保証書に記載されています。
4. お客様のお名前とご住所（付近の特徴のある建物など）
5. お電話番号
6. 訪問させていただく希望の日時・ご都合のよい時間をお知らせください。

● **保証期間中は**

保証書の規定にしたがって、出張修理、または（場合によっては）商品の交換をさせていただきます。（☞裏表紙）

● **保証期間終了後は**

保証期間終了後は診断をして、修理できる場合はご要望により有料修理させていただきます。(出張診断のみでも料金がかかることがあります。)

● **修理料金の仕組み**

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料：診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代：修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料：お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

● **その他**

- 商品に異常がある場合には、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。
- アフターサービスについてご不明な点は、弊社サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

＜弊社サポートセンターについて＞

● **電話によるお問い合わせ**

受付時間：**365 日　9:00 ～ 18:00**
固定電話： 0120-835-111
携帯電話： 0570-033-677(有料)

※上記電話番号がご利用いただけない場合
050 - 2018 - 6700（有料）

● **FAX によるお問い合わせ**

FAX 番号：0570-061-117（有料）
お客様のご連絡先、型番、ご購入年月日、お買い上げ店、故障状況を詳しく記載してください。

● **メールによるお問い合わせ**

電子メールでのお問い合わせは http://www.hisense.co.jp のお問い合わせのページで受け付けています。お客様のご連絡先、型番、ご購入年月日、お買い上げ店、故障状況を詳しく記載してください。

受付時間：24 時間受付。土日・祝日を挟んだ場合、およびご質問の内容によっては、回答までに日数がかかる場合があります。あらかじめご了承ください。

サポート受付に関しては変更させていただく場合がございます。

弊社のホームページでサポート時間などをご確認の上、ご利用いただくようお願いいたします。

ハイセンスサポートセンター　**固定電話：0120-835-111**
携帯電話：0570-033-677(有料)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

経年変化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体におこなっています。

【製造年】（本体に西暦４桁で表示してあります）



【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、右記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は無償保証期間と異なります。また一般的な故障を保証するものでもありません。

経年劣化とは

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外で使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で故障したり経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

■標準的な使用条件：
JIS C 9921-3　ルームエアコンディショナーの設計上の標準使用期間を設定するための標準使用条件による

区　分	項　目		条　件
環境条件	電源電圧		製品の定格電圧による
	周波数		50Hz/60Hz
	冷房	室内温度 室内湿度	27℃（乾球温度） 47%（湿球温度 19℃）
		室外温度 室外湿度	35℃（乾球温度） 40%（湿球温度 24℃）
	暖房	室内温度 室内湿度	20℃（乾球温度） 59%（湿球温度 15℃）
		室外温度 室外湿度	7℃（乾球温度） 87%（湿球温度 6℃）
	設置条件		製品の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅		木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ		製品能力に見合った広さの部屋（畳数）
想定時間	1年間の使用日数 （東京モデル）		**冷房**：6月2日から9月21日までの日112日 **暖房**：10月28日から4月14日までの169日
	1日の使用時間		**冷房**：9時間／日 **暖房**：7時間／日
	1年間の使用時間		**冷房**：1008時間／年 **暖房**：1183時間／年

仕様

型名				BIM-SAS22A	BIM-SAS25A	BIM-SAS28A
		室内		BIM-SCS22A	BIM-SCS25A	BIM-SCS28A
種類				冷房・暖房兼用セパレート形（インバーター）		
電源				単相 100V　50/60 Hz		
冷房面積の目安	鉄筋アパート南向き洋室		m^2	15	17	19
	木造南向き和室		m^2	10	11	13
暖房面積の目安	鉄筋アパート南向き洋室		m^2	11	13	16
	木造南向き和室		m^2	9	10	13
冷房	能力		kW	2.2	2.5	2.8
	消費電力		W	480	570	570
	運転電流		A	6	6.4	6.4
	運転音（音響パワーレベル）	室内	dB	55	59	59
		室外	dB	56	58	58
暖房	能力		kW	2.2	2.8	3.6
	消費電力		W	420	580	765
	運転電流		A	5.3	6.5	7.8
	運転音（音響パワーレベル）	室内	dB	55	59	59
		室外	dB	53	60	60
通年エネルギー消費効率（APF）※1				6.6	6.6	6.6
区分名				I		
冷媒				R32		
充填量（kg）				0.55	0.76	0.76
最大許容圧力（Mpa）				4.28		
外形寸法（高さ×幅×奥行き）		室内	mm	298 × 799 × 305		
		室外	mm	530 × 660(+92) × 275(+50)	590 × 810(+91) × 280(+57)	590 × 810(+91) × 280(+57)
製品重量（梱包重量）		室内	kg	11.4（13.7）	11.8（14.1）	11.8（14.1）
		室外	kg	22（24）	30.2（32.8）	30.2（32.8）
付属品				リモコン　1個、単四形乾電池　2本		

※1 JIS C 9612:2013に基づく通年エネルギー消費効率及び区分名

1. この仕様の数値は50Hz・60Hz共通です。
2. 運転特性は、JIS C 9612：2013（日本工業規格）に基づいた数値です。
3. 運転音は試験室での測定値ですので、実際に据え付けた状態での運転音は周囲環境により異なります。

メモ

メモ

ルームエアコン　保証書　出張修理

品番	
お買い上げ日	年　月　日
保証期間	お買い上げ日より本体 **1 年間** （ただし冷媒系統は 5 年間）
お買い上げ店 住所・店名・電話	
【お客様情報】	
お名前	
ご住所	
お電話番号	

見本

Hisense
ハイセンスジャパン株式会社
〒212-0013
神奈川県川崎市幸区堀川町 66-2 興和川崎西口ビル
サポートセンター電話番号：
固定電話：0120-835-111
携帯電話：0570-033-677(有料)
受付時間：365 日　9:00 ～ 18:00

修理のお問い合わせに際して、＜修理規約＞
https://www.hisense.co.jp/repairpolicy/
をご確認ください。
あわせて、以下の＜無料修理規定＞
をお読みください。
FAX によるお問い合わせは、取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書・本体表示の注意書きに従い、正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、本書記載内容の範囲内で無料修理いたします。お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
2. ご転居・ご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理を依頼できない場合は、ハイセンスサポートセンターへお問い合わせください。
3. 保証期間中でも、次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤りや、不当な修理・改造による故障または損傷。製品に異常が認められない場合。
   （ロ）お買い上げ後の取付場所の移動・引っ越し・輸送・落下などによる故障または損傷。
   （ハ）火災・水害・落雷・地震・その他の天災地変、公害・塩害・異常電圧などによる故障または損傷。
   （ニ）一般家庭用以外（たとえば業務用・車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障または損傷。
   （ホ）本書のご提示がない場合。
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入または押印がない場合
4. 保証書の規定に従って、販売店が修理をさせていただきます。(保証書がありませんと、保証期間中でも代金を請求する場合があります。)
5. この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
6. この保証書は日本国内においてのみ有効です。

★保証書にご記入いただいた個人情報は、保証期間内のサービス活動、以後の安全点検活動に利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
★この保証書は、明示した期間・条件のもとで修理をお約束するものです。 したがって、この保証書により保証書発行者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店またはハイセンスサポートセンターへお問い合わせください。
★保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書のアフターサービスについて をご覧ください。
★離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理対応を行った場合は実費を申し受けます。
★据え付けや取り外しは専門業者へご依頼ください。お客様ご自身でおこなった据え付け不具合等については、保証対象外となります。

愛情点検

長年ご使用のエアコンの点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなり、変色している。
- 焦げ臭いニオイがする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 室内ユニットから水もれがする。
- ブレーカーがたびたび切れる。
- 架台や吊り下げなどの取付部品が腐食していたり、取付がゆるんでいる。
- その他、異常・故障がある。

異常があればご使用中止

事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

廃棄時のご注意

2001 年 4 月施行の家電リサイクル法ではお客様がご使用済みのエアコンを廃棄される場合は収集・運搬料金と再商品化等料金 (リサイクル料金) をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村へ適正に引き渡すことが求められています。

特定化学物質の含有についての情報を
下記ウェブサイトにて公開しております。
https://www.hisense.co.jp/support/jmoss/

【製造元】ハイセンスジャパン株式会社
〒212-0013　神奈川県川崎市幸区堀川町 66-2 興和川崎西口ビル

ビックアイデア

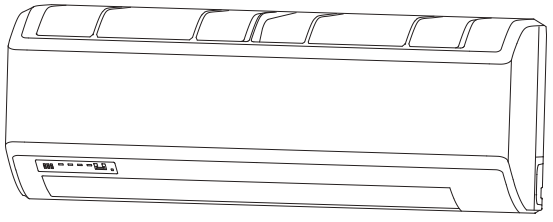
家庭用

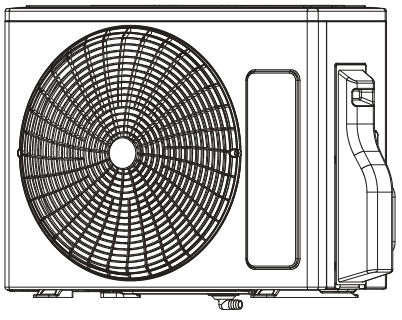
日本国内専用
Use only in Japan

ルームエアコン

室内ユニット	室外ユニット
BIM-SAS22A-W	BIM-SCS22A
BIM-SAS25A-W	BIM-SCS25A
BIM-SAS28A-W	BIM-SCS28A

据付説明書





1. 安全上のご注意 1
表示の分類 1
図記号の意味 1
2. 付属品の確認 2
3. 据付場所の選定 3
室内ユニット 3
室外ユニット 3
ワイヤレスリモコン 3
4. 室内ユニットの据付 4
5. 室外ユニットの据付 8
6. 配管を接続する 8
7. ポンプダウンや取りはずし方 11
8. リモコンの設定 11
9. 試運転の確認 11

この据付説明書は、必ず取扱説明書と一緒に保管してください。
据付け後、最終ページの確認項目のチェックを行ってください。
(据付工事後、本書をお客様にお渡しください。)

●仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。

1. 安全上のご注意

据付工事や修理は、必ずお買い上げの販売店または専門業者にご依頼いただき、お客様ご自身で行わないでください。

■据付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に据え付けてください。特に「安全上のご注意」は、据え付け前に必ずお読みください。

■据付説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■据付完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書に沿い、お客様に使用方法、お手入れの仕方をご説明ください。

表示の分類

本書では、必ずお守りいただく事項を以下のように分類しています。

⚠ **警告**	人が死亡したり、重大な損害を受ける可能性がある内容を示します。	⚠ **注意**	人が負傷したり、物が破損する可能性がある内容を示します。

図記号の意味

してはいけない内容を示します。	必ず実行しなければならない内容を示します。

この機器は微燃性冷媒を使用しています。冷媒が漏えいした場合、周囲に着火源があると発火する可能性があります。

⚠ 警告

■据付けや移設の場合は、冷凍サイクルの中に、指定冷媒（R32）以外のものを混入させない
●空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因になります。

■お客様自身で、電源コードや室内外接続電線の交換はしない。（交換の場合はお買い上げの販売店や専門業者に依頼する）

■電線コードの中間接続・延長コードやより線の使用・たこ足線はしない、電源コードを束ねない
●発熱・感電・火災の原因になります。

■指定冷媒（R32）以外は使用しない
●機械の故障・破裂・けがの原因になります。

■調理室など油煙の多いところ、または燃焼ガや腐食ガス、金属製のホコリのある場所に、据え付けない
●機械の破裂・水漏れ・火災・故障の原因になります。

■可燃性のもの（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない
●機械の破裂・感電・火災の原因になります。

■室外ユニットはベランダの手すり近くに据え付けない
●乳幼児が上がり落下の原因になります。

■据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する
●機械の水漏れ・感電・火災の原因になります。

■据付けは、重量に十分耐えるところに確実に行う
●機械の落下によるけがの原因になります。

■据付工事、取外し工事、修理などは、必ず弊社の付属部品及び指定の部品を使用し、据付説明書に従って確実に行う
●機械の落下・水漏れ・感電・火災の原因になります。

■電気工事は、第二種電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及びこの据付説明書に従って施工し、専用回路を使用する
●感電・火災の原因になります。

■漏電遮断器を取り付ける
●機械の感電・火災の原因になります。

■据付けは作業終了まで、コンセントに電源プラグを差し込まない
●電気部品に接触すると、感電の原因になります。

■電源プラグを差し込む際は、電源プラグ側だけではなく、コンセント側のホコリ付着・詰まり・がたつきのないことを確認し、根元まで確実に差し込む
●感電・火災の原因になります。
●コンセントにがたつきがある場合、交換してください。

■室内外ユニット間の配線と電源の配線は、内線規程に従って所定の配線を用いて確実に接続する。端子台の接続部に、内外接続電線の外力が伝わらないよう確実に固定する。中間接続は絶対に行わない
●接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

■電源コードや室内外接続配線をはさんだり、ネジで傷つけない。電源コードは束ねたまま使用しない
●感電・発熱・火災の原因になります。

■ポンプダウン作業では、冷媒配管をはずす前に圧縮機を停止する
●圧縮機を運転したまま、かつ二方弁や三方弁開放状態で冷媒配管をはずすと、空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂・けがなどの原因になります。

⚠ 警告

■据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取り付ける
●配管を取り付けていない状態で、空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂・けがなどの原因になります。

■据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する。据付終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
●冷媒が室内に漏れ、火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

■配管やフレアーナット、工具は必ず冷媒 R32 または R410A 用のものを使用する。据付終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
●冷媒が室内に漏れ、滞留し、火気に触れると、まれに引火し、有毒ガスが発生する原因になります。

■フレアーナットはトルクレンチなどで指定の方法とトルクで締める
●締め過ぎると、長期経過後フレアーナットが割れ、冷媒が漏れ、滞留し、火気に触れると、まれに引火する原因になります。

■アース（接地）工事は確実に行う。アース線はガス管・水道管・避雷針・電話線に接続しない
●アース (接地) が不確実な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になります。

⚠ 注意

■可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置はしない
●発火のおそれがあります。

■室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない
●けがのおそれがあります。

■室外ユニットの天板をはずすとき、強く握らない
●鋭利な板金により、けがのおそれがあります。

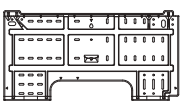
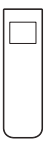
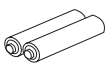
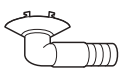
■室外ユニットは小動物の住み家になるような場所には設置しない
●小動物が侵入して内部の電気部品に触れると、発煙・発火のおそれがあります。**また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。**

■後々のサービス・補修を考慮した場所を選定する

■排水工事は据付説明書に従って確実に排水するように配管する
●室内に浸水し、家財などをぬらすおそれがあります。

■室内・外ユニットの吹き出し口や隙間に指や棒などを入れない

2. 付属品の確認

室内ユニット		
据付板：1 枚 	据付板取付ねじ (M4 × 25L)：5 本 	ワイヤレスリモコン：1 個 
単四形乾電池：2 本 	●取扱説明書（保証書）：1部 ●据付説明書 (本書)：1部 ●ConnectLife 取扱説明書(本書)：1部 	**室外ユニット** ドレンプラグ：1 個 

3. 据付場所の選定

室内ユニット

以下のところに設置してください。

- 本体を水平に据付けることができ、重量を十分支えられ、騒音・振動が増大しないところ
- 油煙が発生しないところ
- 近くに熱や蒸気の発生がないところ
- 吸込口・吹出口付近がふさがらないところ
- ドレン排水が容易にできるところ
- 吹出口が火災警報器から 1.5 m以上離れているところ
- テレビ・ラジオより１m以上、アンテナより３m以上離れたところ (映像の乱れや雑音が生じることがあります。)
- 蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れたところ (ワイヤレスリモコンの受信距離が短くなることがあります。)
- 高周波数、高出力の無線機器などからできるだけ離れたところ (空調機が誤動作する場合があります。)
- 右図で示す所要スペースや据付制約が守れるところ

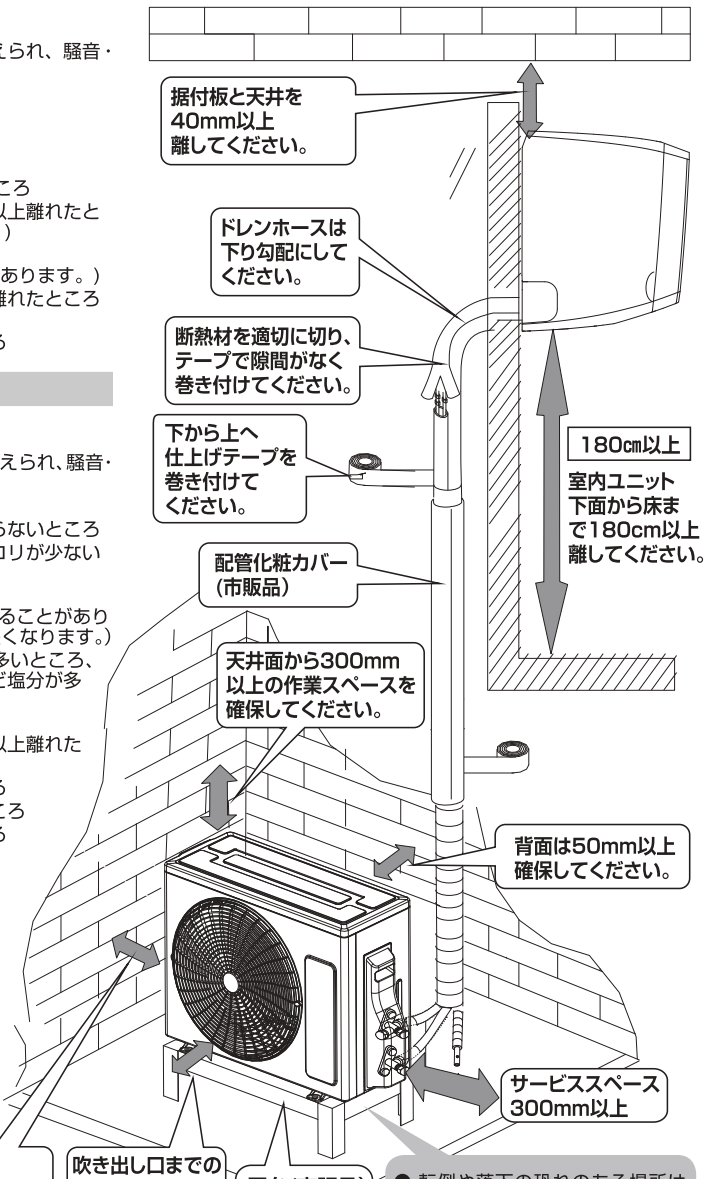
室外ユニット

以下のところに設置してください。

- 本体を水平に据え付けることができ、重量を十分支えられ、騒音・振動が増大しないところ
- 吸込口・吹出口付近がふさがらないところ
- 積雪地域では積雪により吸込口や吹出口がふさがらないところ
- 雨や直射日光が当たりにくく、風通しが良く、ホコリが少ないところ
- 強風に当たらないところ
  (風が強く、室外ファンが高速で逆回転して破損することがあります。霜取り運転中、風が当たると霜取り時間が長くなります。)
- 油・蒸気・油煙が発生するところ、硫化ガス成分が多いところ、またはガスや油などがたまるところ、海岸地域など塩分が多いところは避けてください。
  (室外ユニットの寿命が短くなることがあります。)
- テレビ・ラジオより１m以上、アンテナより３m以上離れたところ
- 消防法および都道府県の条例などに適合するところ
- 吹き出した風や騒音がご近所の迷惑にならないところ
- 右図で示す所要スペースや据付制約が守れるところ

ワイヤレスリモコン

- リモコンを市販品のフック等に取り付ける場合、取付位置で受信されることを確認してください。
- 部屋に蛍光灯がある場合には、蛍光灯を点灯させた状態で、リモコンが正常に動作する位置に取り付けてください。電子式点灯方式の蛍光灯 (インバーター蛍光灯など) を取り付けた部屋では、信号を受け付けないことがあります。



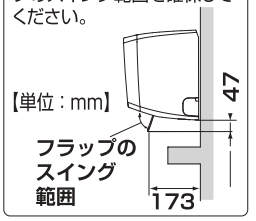
冷媒配管

- 最大接続配管長　15m
  (チャージレス　12m)
- 最大高低差　10m

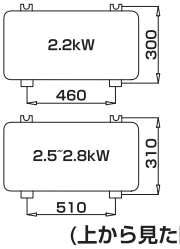
※ 配管長 12m 超時は、要追加チャージ 20g/m

取付時の注意事項

カーテンレールの上部に取り付ける場合、運転時のフラップのスイング範囲を確保してください。



室外ユニット固定用穴位置【mm】



(上から見た図)

- 転倒や落下の恐れのある場所は基礎ボルトや針金で本体を固定してください。
- 室外ユニットの壁置きなどの据付で振動が大きい時は室外防振ゴムをご使用ください。
- 水はけの悪い場所では平置台 (または樹脂製置台) の上に置いてください。室外ユニットを水平にご設置ください。(水漏れ・水たまりの原因になります。)
- 放熱のため、３方向以上を開放し、通風路を確保してください。３方向を確保できない場合は、冷暖房能力や消費電力が 10% 程度悪化するおそれがあります。

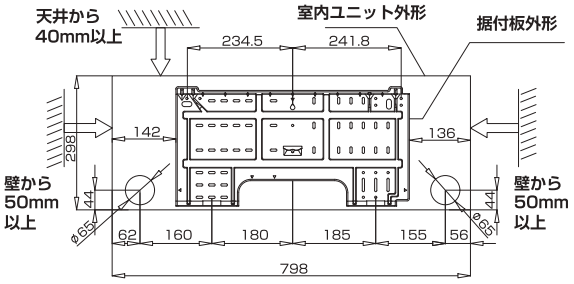
4. 室内ユニットの据付

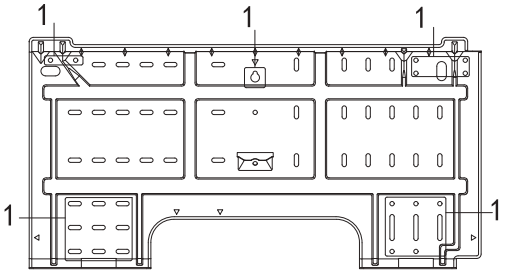
⚠ 警告

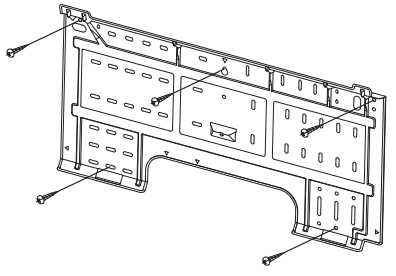
●室内ユニットを据え付ける際は、必ず水平またはドレンホースを取り付ける側を若干下に傾けて据付板を固定する。（本室内ユニットはドレンホースを左右どちらにも取り付けられる構造となっています。ドレンホースを取り付ける側を上方に傾けて据え付けた場合は、水漏れとなるおそれがありますので、ご注意ください。）

❶ 据付板の固定

室内ユニット背面の据付板をはずし、水準器を用いて水平に取り付ける
（背面には据付板固定ネジが 1 本あります。）

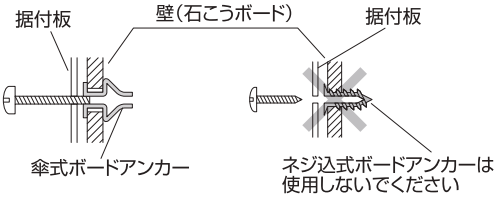






●数字は取付ネジの数です。四角の囲みは推奨するネジ止め位置です。囲みの範囲内に指定数以上のネジで固定してください。

●石こうボードに取り付ける場合は、必ず傘式ボードアンカーをご使用ください。

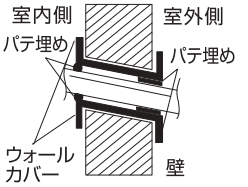


❷ 配管穴をあける

①φ 65 mm の穴を外側に下り勾配にあける
②壁用スリーブをはめ込み、ウォールキャップを取り付ける
③パテやコーキング材で確実にシールする
・シールが不完全な場合、雨水の浸入による水漏れや、空気の侵入による結露のおそれがあります。

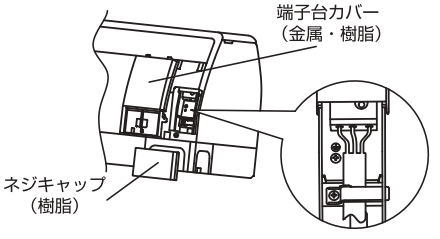
●壁スリーブ・ウォールキャップ・パテ・コーキング等は、現地で調達してください。

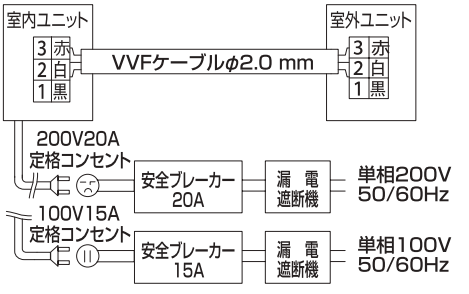
貫通穴径
φ 65mm 以上



❸ 配線の接続

①ネジキャップ（樹脂）と端子台カバー（金属・樹脂）を順にはずす
②配線押さえをはずす
③内外接続電線を室内ユニット背面から前面に引き出す
④電線の被覆を 15mm むき、電線の色を確かめ端子板へむき代部が見えなくなるまで確実に差し込む
⑤確実に挿入されていることを確認する
⑥電線を引っ張り、抜けないことを確かめた後、電線の外装部を配線押さえで固定する
⑦端子台カバーを元のネジで固定し、ネジキャップを取り付け





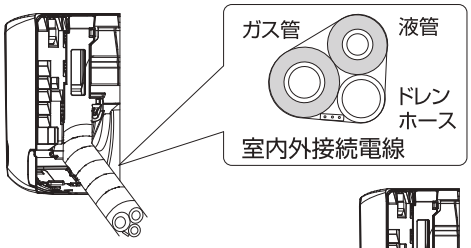
⚠ 警告

●接続電線は VVF ケーブル直径 2.0mm を使用する
●接続電線は途中で接続しない
●接続電線は配線押さえ固定する

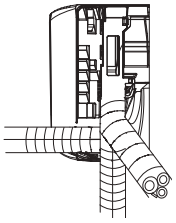
4. 室内ユニットの据付（つづき）

❹配管・ドレンホース・接続電線の成形

配管、ドレンホース、接続電線をまとめ、ドレンホースが配管の下になるよう断熱テープでまとめて巻く



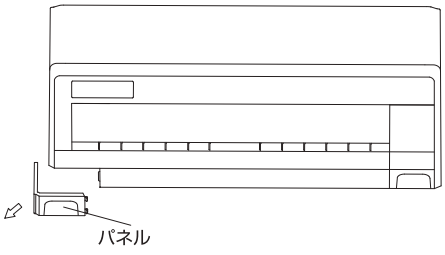
◆室内ユニット配管取り出し方向
配管は、後、左、右、下、左後、左下から取り出せます。



必要なときにお読みください。

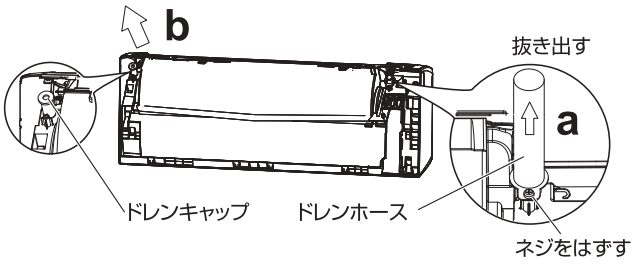
■左後側ドレンの場合

①パネルを取りはずす

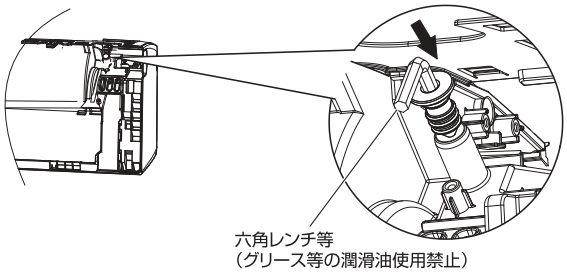


図示の方向に沿ってパネルを取りはずす

②ドレンホースを付け替える



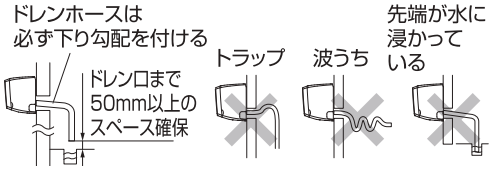
a. 右側ドレンホース固定用のネジをはずし、ドレンホースを取りはずす
b. 左側ドレン口からドレンキャップをはずす



c. ドレンホースを左側のドレン口に取り付け、ネジで固定する
d. ドレンキャップを右側のドレン口に取り付ける
六角レンチ等で押し込み、ドレン口を確実にふさぐ

ドレンホース引き回しについて

●ドレンホースの引き回し方



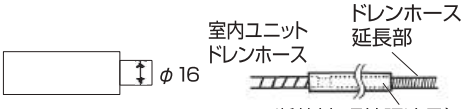
◆ドレンホースを下水道に入れないでください。（下水道内で発生した腐食性ガスがドレンホース内を逆流し、熱交換器を腐食させ、ガス漏れや水漏れの原因になります。）

◆ドレン水内の細菌でドレン水が変色する場合があります。ドレンホース先は排水溝など、水が流れても問題ない場所に設置してください。

◆高気密住宅などで換気扇などを使用したときや、強風時などに、ドレンホース内の水が逆流し、「ポコポコ」音が発生する場合は、市販のドレンホース逆止弁（エアカットバルブ）をご使用ください。

●ドレンホースの延長又は埋めこみ配管を行うとき、先端形状に合った部材をご使用ください。

●ドレンホースを延長する場合は、内径 16mm の市販の延長用ドレンホースをご使用ください。



◆延長したドレンホースが室内を通るときは、必ず断熱材を巻いてください。また、延長部が抜けないよう引っ張りすぎに注意し、接続部から水が漏れないようテープでとめてください。

●ドレン排水の確認

ドレン工事終了後は、ドレン排水の確認をしてください。

①前面パネルを開け、エアーフィルターをはずす

②水を熱交換器につたわらせてドレンパンに注入する

③ドレンホースから水が流れていることを確認する

※ポンプからの信号を接続できないため、市販のドレンポンプ等への接続はできません。

❺ 断熱テープで巻いてまとまった接続配管・ドレンホース・室内外接続電線を、壁貫通穴より引き出す

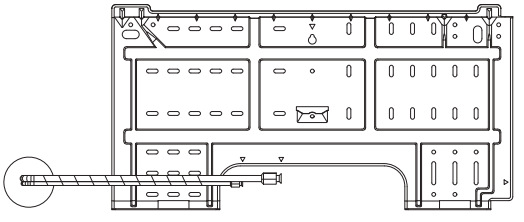
❻ 本体上部を据付板に引っ掛ける

❼ 本体下部を押し込んで固定する

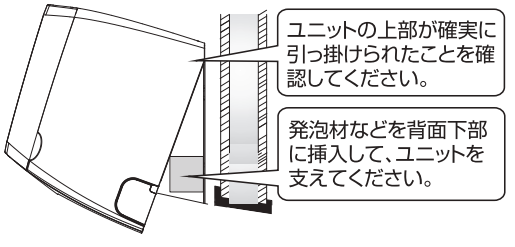
必要なときにお読みください。

■ 左後側配管接続の場合

①壁貫通穴より接続配管を引き出す



②室内ユニットの上部を据付板に引っ掛ける

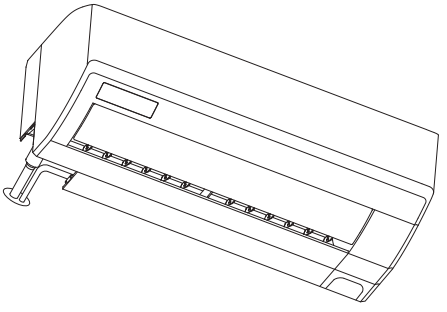


注意：
ユニットと壁の間の角度を２０度以内に収めてください。（脱落してけがのおそれがあります。）

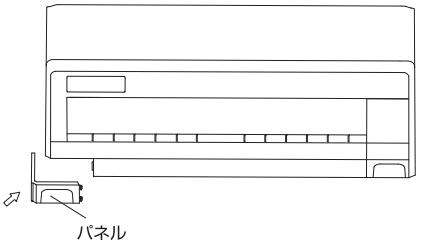
③配管を接続する

冷媒、配管・ドレンホースを接続します。
配管・ドレンホースが室内を通る場合は、必ず右端から左端まで、すべてに隙間がないように、市販の断熱材を巻いてください。

※確実に巻かないと、結露や水漏れの原因になります。



④左側のパネルを再取り付け



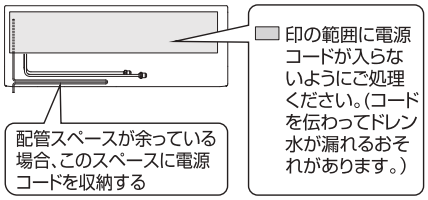
図示の方向に沿ってパネルを再取り付けし、しっかりと固定する

（次ページへつづく）

4. 室内ユニットの据付（つづき）

必要なときにお読みください。

⑤ユニット背面に挿入した発泡材を回収し、ユニットが水平に据え付けられたことを確認する



注意：

- 室内外接続電線や電源コードは挟まらないようにご注意ください。
- 電源コードが長すぎる場合は、室内ユニットの背部に収納してください。

5. 室外ユニットの据付

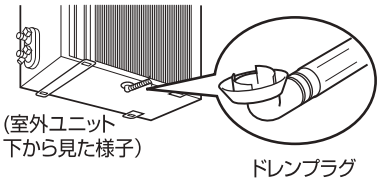
❶ 室外ユニットを設置する

- 水平に設置する。傾きは前後左右、各々3°以内とする
- 騒音や振動が増大しないように、しっかりとした台の上に据え付ける
- 転倒や落下、据付位置のずれがないように室外ユニットを固定する
- 地面に直接据付けない（故障の原因となるため）
- ドレン水の処理が必要な場合は、付属のドレンプラグを取付け、市販の内径 16mm ドレンホースを使用する
- 寒冷地では、ドレンプラグやドレンホースを使用せず、垂れ流しにする（ドレン水が底板内で凍結し、暖房性能低下の原因となります。）

必要なときにお読みください。

■ ドレン水の処理が必要な場合

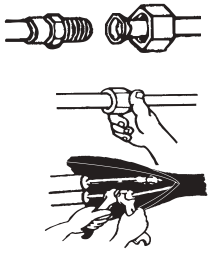
●ドレン排水の場合は、ドレンプラグをご使用ください。



6. 配管を接続する

❶ 配管を接続する

- ガス漏れ防止のため、フレア内面に冷凍機油を塗布する
- フレア外面やフレアナットネジ部には冷凍機油を塗布しない（過剰な締め付けトルクによるフレアナットの割れやネジ破損の原因となるため）
- 配管内への異物（水分、油分など）混入に注意する
- ガス管・液管は分離し、各々別に断熱する
- 接続配管の銅管外形・断熱・締付トルクは、下記のようにする



フレアーナット締め付けトルク	
ガス側	液側
33 - 40Nm	15 - 20Nm

①フレアナットは、最初手回しで３～４回転ねじ込む

②その後はトルクレンチを使用し指定トルクでしっかりと締め付ける

（フレアナットを締め付け過ぎると、長期経過後フレアナットが割れ、ガス漏れの原因になります。）

（接続部に不備があるとガス漏れだけでなく、冷凍サイクル故障の原因につながります。）

必要なときにお読みください。

■ フレア加工

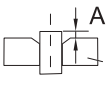
①パイプカッターで配管を切断する

②切粉が銅管に入らないよう下向きにし、切断面のバリ取りを行う



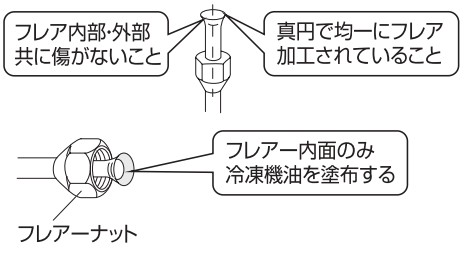
③付属のフレアナットを配管に挿入する

④ダイスからの出しろを正しくセットし、フレア加工をする



	R32用･R410A用フレアーツール
	クラッチ式
A	0～0.5 mm

⑤正しくフレア加工ができているか確認する



⚠ 注意:
年数の経過による腐食割れを防止するため、
フレアーナットは本体付属のものをご使用ください。

⚠ 警告

- **フレア加工は正しく確実に行う**
  （不備があると、冷媒漏れの原因になります。）
- **曲げは少なく、ゆるやかに。曲げる際は、パイプベンダーをご使用ください**
- **フレアナットはトルクレンチを使用し、指定トルクで締め付ける**

（次ページへつづく）

6. 配管を接続する（つづき）

必要なときにお読みください。

既設配管の接続について

●本製品（R32 冷媒）は R410A 冷媒で使用していた既設配管に接続可能です。

- 既設配管内が汚れている場合は、配管洗浄または新規配管が必要です。
- 既設配管についても新規配管同様に下記記載の JIS 規格品をご使用ください。

配管と断熱の選定

接続配管の使用について

・接続配管は、「JIS H3300」に定める「リン脱酸銅継目無配管（C1220T）」で配管肉厚は 0.8MM のものを使用する（付着油量 :40 mg/10 m 以下）

・断熱材材質：発泡ポリエチレンフォーム

・熱伝導率：0.041 ～ 0.052 W/mk（0.035 ～ 0.045 kcal/mh℃）

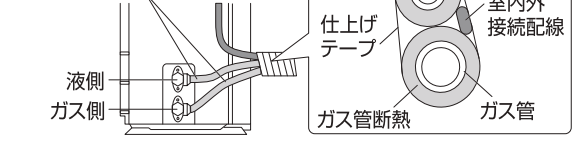
（ただし、ガス管は表面温度が最高 110˚ になるため、それに耐えるものをご使用ください。）

・ガス管、液管とも断熱し、断熱寸法は下記のようにする

ガス管	液管	ガス管断熱	液管断熱
外径 9.52 mm	外径 6.35 mm	内径 12~15 mm	内径 8~10 mm
肉厚 0.8 mm	肉厚 0.8 mm	肉厚 8~10 mm	肉厚 8~10 mm

■ ガス管・液管は分離し、各々別に断熱する

閉鎖弁の結露水が断熱材と配管の隙間から室内ユニット側に伝わるおそれがある場合は、断熱材端面をシールしてください。



❷ エアパージ・ガス漏れ確認

●地球環境保護の観点から、必ず真空ポンプ方式でエアパージしてください。

・R32 もしくは R410A 用のツールを使用する

・真空ポンプは必ず逆流防止機構付きを使用する

・各ツールは取扱説明書を読み正しく使用する

①図を参考に真空ポンプを接続する

②ゲージマニホールドの低圧側バルブ「Lo」を全開にし、高圧側バルブを全閉にし、真空ポンプを運転する

③ 15 分以上運転後、連成計が－ 0.1MPa（－ 76cmHg）になっていることを確認する

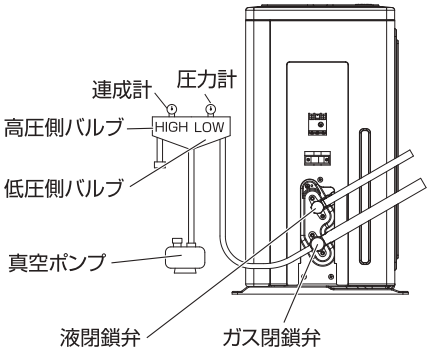
④ゲージマニホールドの低圧側バルブ「Lo」を全閉にする

⑤真空ポンプを停止し、2 ～ 3 分間そのままにし、ゲージマニホールドの針が戻らないことを確認する

⑥液側の弁棒キャップをはずし、液閉鎖弁の弁棒を反時計回りに 90˚ 開き、5 ～ 10 秒後に閉じ、ガス漏れ確認を行う。まわりいっぱいに回し、全開にする

⑦ガス閉鎖弁のサービスポートよりチャージホースをはずし、液閉鎖弁、ガス閉鎖弁を全開にする。弁ぶたとサービスポートのキャップを確実に閉める

⑧リークテストを行い、ガス漏れが無いことを確認する

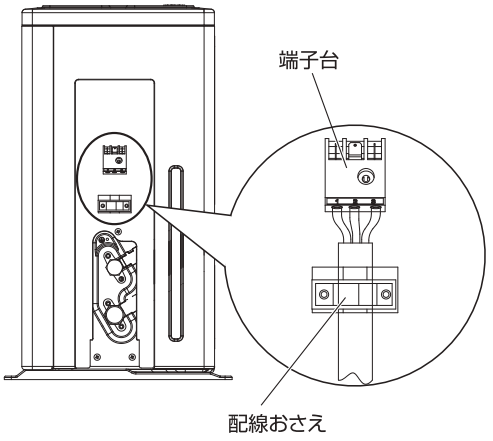


■ リークテスト

室内機側はフレア部周辺を、室外機側はフレア部周辺・弁棒周辺を石けん水を塗布して確認し、確認後は拭き取ってください。リークディテクターは HFC 冷媒対応のものを使用してください。

❸ 配線接続

室外ユニットの端子台に接続電線を取り付ける

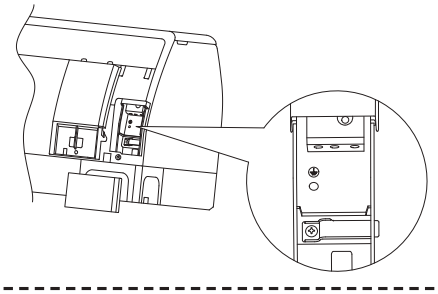


必要なときにお読みください。

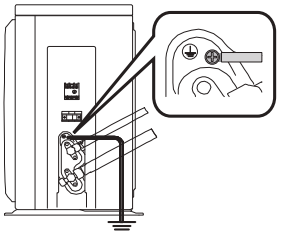
■アース工事・漏電しゃ断器

アース工事や漏電しゃ断器の取付けは、「電気設備に関する技術基準」および「内線規定」に従って行ってください。

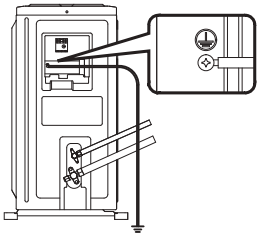
- **アース工事**
  - ・接地の基準に従って、必ずアース工事を行う
  - ・アース工事は電気工事士の人が行う
  - ・接地抵抗は 100 Ω以下にする
  - ・室内側でアース工事ができない場合は、室外ユニットからアース工事を行う
  - ・アース線、アース棒は市販品を使用する。
  - ・室内機、室外機のいずれか一方に対し、アース工事を行う
- **室内アース工事**
  - ①端子台カバーとネジキャップをはずす
  - ②端子台カバー内のアース用ネジにアース線を接続する
  - ※ 200V 機種は、室内電源コードがアース付きになっています。



- **室外アース工事**
  - ①閉鎖弁カバーをはずす
  - ②アース線をアース端子に接続する



2.2kWの機種



2.5kW以上の機種

エアコン据付場所	接地工事
水気のある場所に据え付ける場合	漏電遮断器を取り付け、さらに D 種接地工事が必要です。
湿気のある場所に据え付ける場合	D 種接地工事が必要です。
乾燥した場所に据え付ける場合	D 種接地工事は法的には除外されていますが、安全の為接地工事をしてください。

7. ポンプダウンや取りはずし方

⚠ 警告

- **ポンプダウンは必ず専門業者に依頼し、下記の注意事項を守って作業を行ってください。**
- **ポンプダウン前に、冷媒漏れのないことを確認する**
- **配管折れ等により冷凍サイクル内に冷媒がない場合は、ポンプダウンをしない**
- **ポンプダウン作業時は、接続配管をはずす前にコンプレッサーを停止する**
- **家電リサイクル法により、冷媒フロン回収を実施します。撤去時にはポンプダウンの上、閉鎖弁をしっかりと締めて指定引取場所に持ち込んでください。**

❶ ポンプダウン運転

①液・ガス閉鎖弁の弁ふたをはずす

②次の方法で強制冷房運転を行う

室内ユニットの運転/停止ボタンを5秒以上押し続けます。

ピピッと鳴り、運転を開始します。強制冷房運転は約 15 分間で終了し、自動的に停止します。強制的に運転を終了させたいときは、室内ユニットの運転/停止ボタンを押してください。

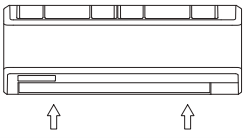
③5～10分間後、液閉鎖弁を六角レンチを使って閉じる

④2～3分間後、ガス閉鎖弁を閉じる

強制冷房運転を停止します。

❷ 室内ユニットの取りはずし方

・ユニットの下面を指で押し上げると、据付板からはずれます。
（右図の2か所の矢印）



8. リモコンの設定

同じ部屋に 2 台の室内機を据え付けたとき
2台のうちのどちらか一方のアドレスを設定変更することにより混信を防ぐことができます。

※アドレス設定で変更しないもう 1 台のエアコンのコンセントを抜いてから下記の手順で設定を行ってください。

●アドレス設定

❶ リモコンをエアコン本体に向けて [入タイマー] + [切タイマー] + [停止] を同時に 5 秒間押し続けると、リモコンの液晶画面に「B」が表示され、本体から「ピッピッ」と音が鳴りペアリング設定が完了します。

❷ 設定完了後は、リモコンの信号設定は「B」に切り替わり、本体も「B」設定のリモコンで操作できます。

※リモコンアドレス設定は、電池残量が十分な状態で行ってください。

9. 試運転の確認

⚠ 警告

- **試運転する際に、必ず前面パネルとエアーフィルターを取り付けた状態で実施する**
- **電源プラグをコンセントに差し込む前に必ず電源電圧を測定する**

※異電圧を印加した場合

・100V 用の機種に 200V 電源を接続した場合、室内機のタイマーランプが 0.5 秒毎に点滅します。

・200V 用の機種に 100V 電源を接続した場合、室内機のタイマーランプが 1 秒毎に点滅し、送風運転することがあります。
故障ではありません。コンセントの電圧を正しく直してください。

①リモコンの冷房ボタン（夏季）または暖房ボタン（冬季）を押す

②冷房運転の時は設定温度を１６℃に、暖房運転の時は30℃に設定する

③取扱説明書の手順で運転操作を行い、異常なく動作することを確認する

・停止後、約3分間は、製品保護の為、運転しません。

④試運転後、適切な温度（冷房の場合は２６℃～２８℃、暖房の場合は２０℃～２２℃）に戻す

・試運転中、エラーで停止した場合は、室内ユニットの運転ランプが点滅します。そのとき、取扱説明書「サービスコード」に従い対応をおこなってください。

●据付工事点検確認項目

（据付工事後に必ず確認してください。）

□据付場所は、エアコンの重量に十分耐えられる場所で、騒音や振動が増大しない場所。

□ドレン排水の試験を行い、確実に排水を行えることを確認した。

□電源は専用回路を使用し、規定どおりの電圧である。

□配管接続部からのガス漏れがないことを確認した。

□ユニット間の連絡配線が確実であることを確認した。

□アース線の接続を確実に行った。

□配管の断熱を確実に行った。（室内を通る配管は市販断熱材を使用している。）

□電源コードの中間接続や延長コードの使用がなく、タコ足配線をしていない。

□バルブ（液側・ガス側）は全開である。

□リモコンが送受信でき、試運転を完了した。

特定化学物質の含有についての情報を
下記ウェブサイトにて公開しております。
https://www.hisense.co.jp/support/jmoss/

【製造元】ハイセンスジャパン株式会社
〒212-0013　神奈川県川崎市幸区堀川町 66-2 興和川崎西口ビル